

これからの 地域社会のために

川崎市議会議員(中原区)

いど清貴

きよたか

私たちは市議会議員の役割は、市民の代表として、市政の方針を決定したり、市政の運営を監視したりすることです。



令和8年第2回市議会定例会のご報告

「令和8年第2回市議会定例会」が6月1日から24日にかけて開催されました。本定例会では、補正予算や条例改正などの審議に加え、市民生活に直結する様々な課題について議論が行われました。

私は、所属会派の代表質問で「水道・下水道料金改定」「国際情勢への対応」等について質問し、一般質問においては「戦略的な日陰づくり」「学校の校庭における日陰づくり」「持続可能な水泳授業」「水道料金・下水道使用料改定」などを取り上げました。

今号では、代表質問や一般質問の主な内容をご報告いたします。



代 表 質 問

水道・下水道料金改定について

市民に負担を求める前に行政改革の徹底を。

水 道料金・下水道使用料の改定は、市民生活に大きな影響を及ぼします。代表質問において、市民に負担を求める前に行政改革を徹底すること、上下水道の同時改定の見直し、保育所や高齢者施設など価格転嫁が難しい施設への配慮、そして市民への分かりやすい説明を強く求めました。

上 下水道局からは下水道使用料の改定時期について、市民負担の軽減も踏まえ、9月議会まで検討するとの答弁がありました。また、水道事業でも施設減免の導入に向けて関係局と協議する考えが示され、市民周知についてもホームページや広報紙、アプリなどを活用し、情報発信を強化する方針が示されました。

引き続き、市民生活への影響を最小限に抑えるため、議論を慎重に進めてまいります。

水道・下水道料金改定のモデルケース(試算)	
2人世帯: 1ヶ月あたり	約600円の負担増 (年間で 約7,200円)
3人世帯: 1ヶ月あたり	約1,000円の負担増 (年間で約12,000円)
4人世帯: 1ヶ月あたり	約1,200円の負担増 (年間で約14,400円)

※左記は水道料金24%
下水道使用料を14%の負担増を前提とした。
市が示したモデルケースによる試算です。
今後の審議により改定率や
金額は変更となる可能性があります。



▲写真はイメージです

国際情勢への対応について

燃料価格の上昇が、市民生活・市内事業者に及ぼす影響。

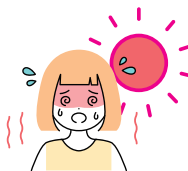
中 東情勢の緊迫化による物価や燃料価格の上昇は、市民生活や市内事業者にも影響を及ぼしています。質問では、市財政や中小企業、市民生活への影響と支援策について質問しました。



▲写真はイメージです

市 は、国の重点支援地方交付金も活用しながら、市内事業者への支援や必要な生活支援策について社会経済情勢を踏まえ、国や県、関係局と連携して検討を進めるとの考えを示しました。また、燃料費などの価格高騰による市財政への影響についても、引き続き状況を注視し、必要な対応を行うとの答弁がありました。

一般質問



近年の猛暑は、単なる「暑い夏」ではなく、市民の命や健康を脅かす災害とも言える状況となっています。屋外では熱中症が多く発生しており、高齢者だけでなく、通勤・通学をする方や子どもたちにとっても深刻な課題です。そこで私は、日陰を偶然できるものではなく、「命を守る都市インフラ」として戦略的に整備していくべきだと考え、一般質問で取り上げました。



命を守る「戦略的な日陰づくり」を提案

「日陰」は快適性だけではなく、命を守るインフラとして。

熱中症の現状



街 路樹だけに頼るのではなく、デジタル技術を活用して市内の日陰を可視化し、効果的な整備につなげることや、民間企業の技術を活用したスマートシェードなど、新たな日陰づくりの実証実験を提案しました。また、環境局を中心に関係部局が連携し、全市的なプロジェクトとして取り組むよう求めました。

市 からは、最新技術の情報収集や民間提案制度の活用、実証フィールドの提供、さらには関係局と連携しながら暑熱対策を進めていくとの答弁がありました。

これからも、暑さから市民の命を守り、誰もが安心して歩けるまちの実現に向け、「戦略的な日陰づくり」を着実に前へ進めてまいります。

子どもたちを守る「校庭の日陰づくり」

水分補給や活動制限だけではなく、日差しを避けて休憩できる環境を。

街 全体で「戦略的な日陰づくり」を進める必要性を提案しました。その考え方は、子どもたちが毎日過ごす学校にも必要です。近年、市立学校では体育の授業や部活動など、校庭や体育館での運動時に熱中症による救急搬送が多く発生しています。

私は、水分補給や活動制限だけに頼るのではなく、子どもたちが日差しを避けて休憩できる環境づくりも重要な熱中症対策であると考え、学校に配備されているテントを体育の授業や部活動時の休憩場所として積極的に活用するよう提案しました。



教 育委員会からは、屋外で遮熱できる場所の確保が課題であることや、テントの活用が有効であるとの認識が示され、各学校の実情に応じて取り組めるよう周知していくとの答弁がありました。

今後は、テントの活用に加え、校庭に恒常的な日陰を確保することも視野に入れながら、子どもたちが安心して学び、運動できる学校環境の実現に向けて取り組んでまいります。

子どもたちに質の高い「持続可能な水泳授業」を

質の高い指導者を迎え、屋内温水プールで年間を通じた授業を。

近 年、学校プールの老朽化や教職員の負担増などを背景に、民間プールや外部指導者を活用した水泳授業への移行が進んでいます。一方で、学校によって指導体制に違いが生じる懸念があり、どの学校でも質の高い水泳授業を受けられる環境づくりが重要です。

私は、屋内温水プールの特性を生かし、年間を通じて計画的に授業を実施することや、外部指導者の専門性を十分に活用しながら、教職員の負担軽減と授業の質の向上を両立させることを提案しました。また、自校プールで授業を行う学校についても、指導水準や謝礼の考え方を整理し、質の高い指導者を確保すべきだと求めました。

教 育委員会からは、温水プールでは年間を通じた授業実施が可能であることや、インストラクターの活用により教員の負担軽減を図る考えが示されました。また、外部指導者の指導水準や謝礼の在り方について、他都市の事例も踏まえ調査研究を進めるとの答弁がありました。

今後も、子どもたちが住む地域に関わらず、誰もが質の高い水泳授業を受けられる環境づくりと、持続可能な水泳授業の実現に向けて取り組んでまいります。



PROFILE

いど清貴(38歳)

1987年11月20日生まれ、中原区下小田中在住
拓殖大学卒業後、富士通グループに入社社員を経て
2023年4月施行の第20回統一地方選挙
中原区選挙区より挑戦、6,619票を獲得し初当選、
2023年5月より川崎市議会議員
会派：みらい川崎市議会議員団、環境委員会(副委員長)

【連絡先】事務所 〒211-0041 川崎市中原区上小田中6丁目50-1
TEL 044-299-7373 / FAX 044-299-7374



詳しくは
ホームページを
ご覧ください



LINEからも
対話できますので
お気軽にご連絡ください。



LINE